

いわき市保育士実態調査
報告書

【詳細版】

平成 27 年 3 月
いわき市

目次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の種類および調査対象者	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収数	1
6. 調査項目	1
7. 報告書の見方	1

第2章 保育士実態調査の結果

1. 調査対象者のプロフィールについて	2
2. 現在保育士就業者について	5
3. 過去保育士就業経験者について	10
4. 保育士就業未経験者について	13

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、全国的に保育士が不足していると言われていた状況を踏まえ、保育士資格を持つ方の現在の就労状況や保育施設への就労意欲等を把握することにより、今後の潜在保育士の掘り起し、保育所等への現場復帰に向けた支援などに役立てることを目的として実施した。

2. 調査の種類および調査対象者

いわき市唯一の保育士養成校であるいわき短期大学幼児教育科の卒業生 3,280 名（同窓会様のご厚意で協力いただいております。）

3. 調査方法

郵送配布・郵送回収

4. 調査期間

平成 26 年 12 月 25 日～平成 27 年 2 月 28 日

5. 回収数

有効回収数 290 件

6. 調査項目

- ・対象者のプロフィール
- ・現在保育士就業者の実態
- ・過去保育士就業者の実態
- ・保育士就業未経験者の実態

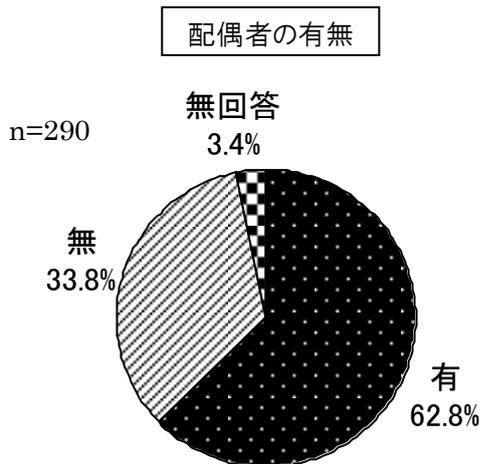
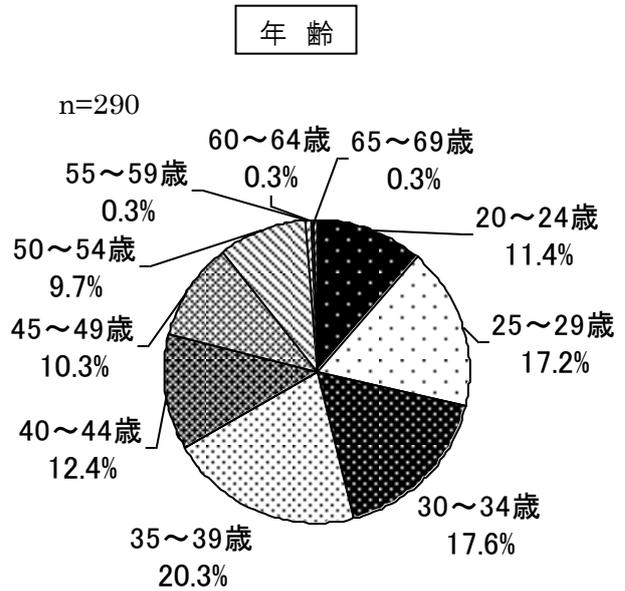
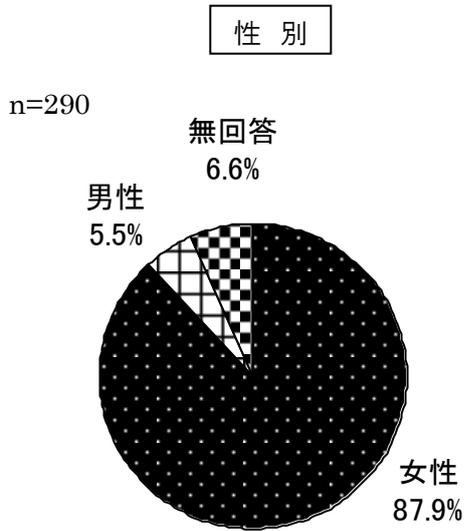
7. 報告書の見方

- ①集計した数値（％）は小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が 1 つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。
- ②回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100%を超えることがあります。
- ③回答が小数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。

第2章 いわき市保育士実態調査の結果

1. 調査対象者のプロフィールについて

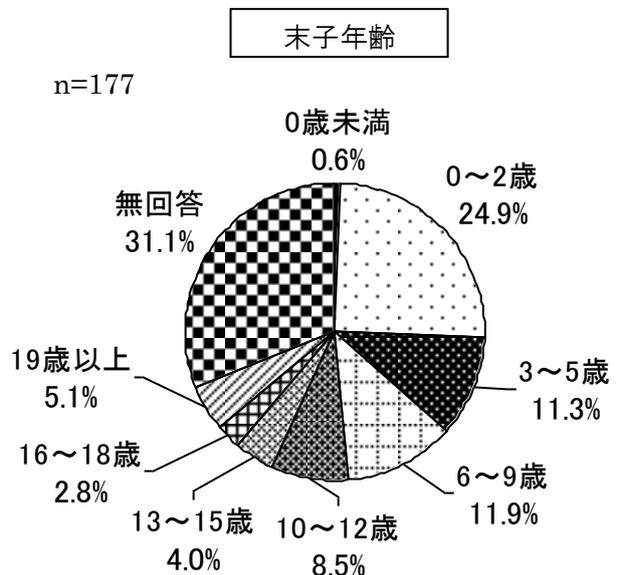
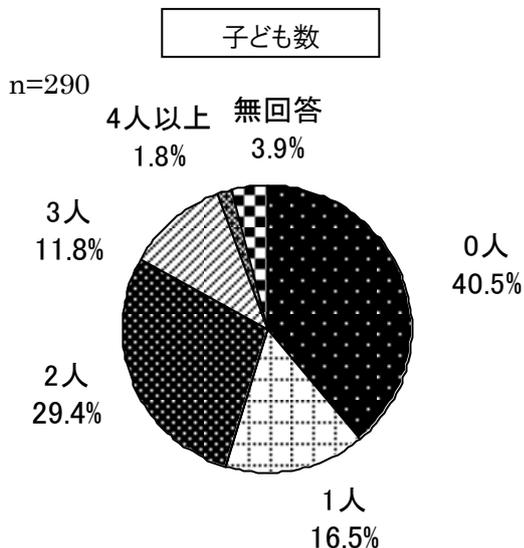
問1 あなた自身についてお答えください。



調査回答者の約8割（87.9%）が女性であり、男性は5.5%という結果となっている。

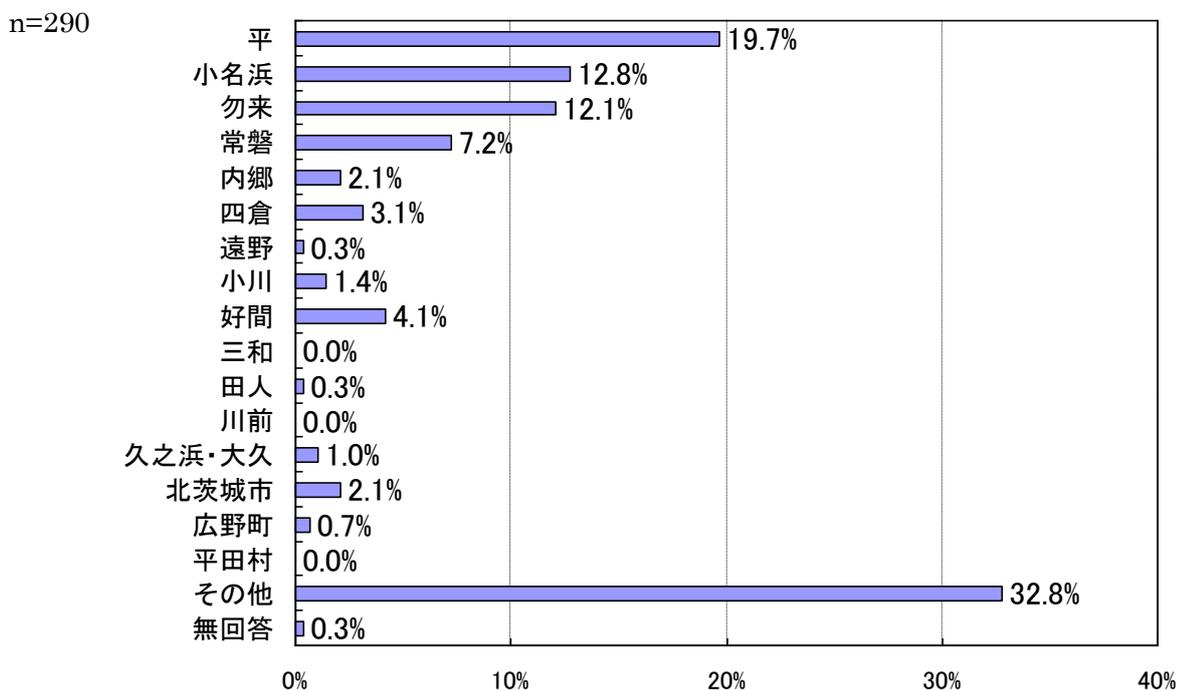
年齢については「35~39歳」が20.3%と最も多く、次いで、「30~34歳」が17.6%、「25~29歳」が17.2%となっている。

子どもがいると答えた人は合計で約6割（59.5%）となり、子育てをしている回答者が多い。



問2 あなたの現在のお住まいをお答えください。(〇はひとつだけ)

現在の住まいについては、「その他」(32.8%)と答えた人が最も多く、次いで、「平」(19.7%)、「小名浜」(12.8%)、「勿来」(12.1%)となっている。市外・県外に住んでいる人は3割を超えており、人材の流出がある状況がうかがえる。



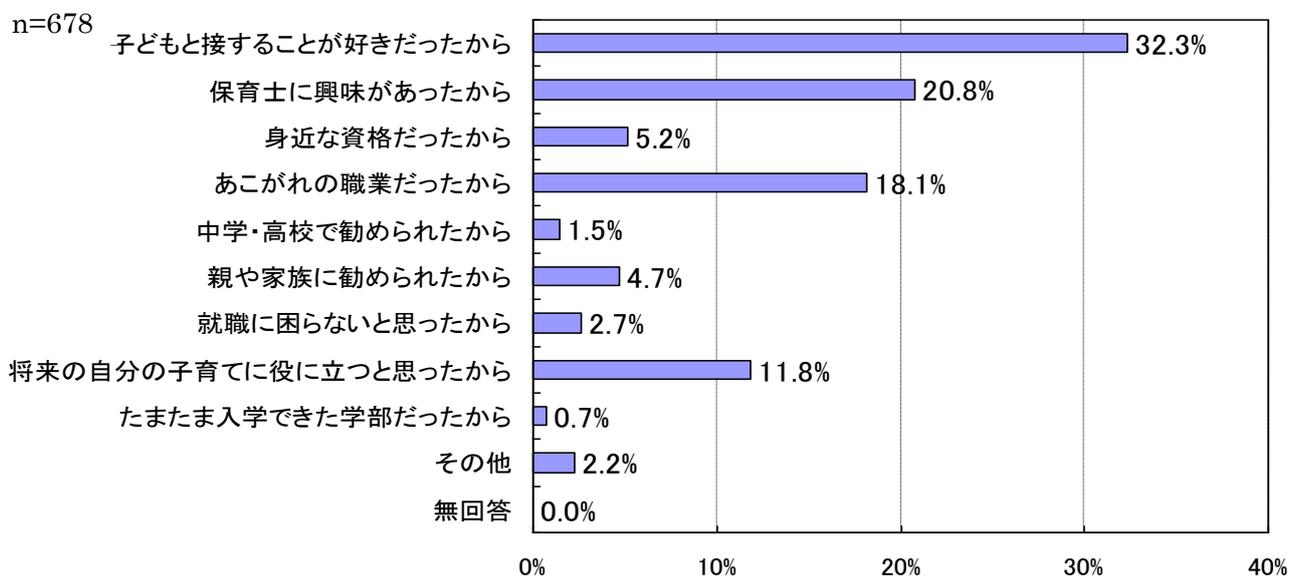
県外 59.8%		県内 40.2%	
青森県	静岡県	会津	相馬市
茨城県	千葉県	岩瀬郡	棚倉町
岩手県	東京都	大玉村	田村市
大阪府	栃木県	桑折町	二本松市
神奈川県	宮城県	郡山市	福島市
群馬県	山形県	白河市	南相馬市
		須賀川市	本宮市

「その他」の内訳については、「県外」が59.8%、「県内」が40.2%という結果になっている。

県外に関しては「宮城県」が最も多く、次いで、「茨城県」となっている。

県内に関しては「中通り」が最も多い。

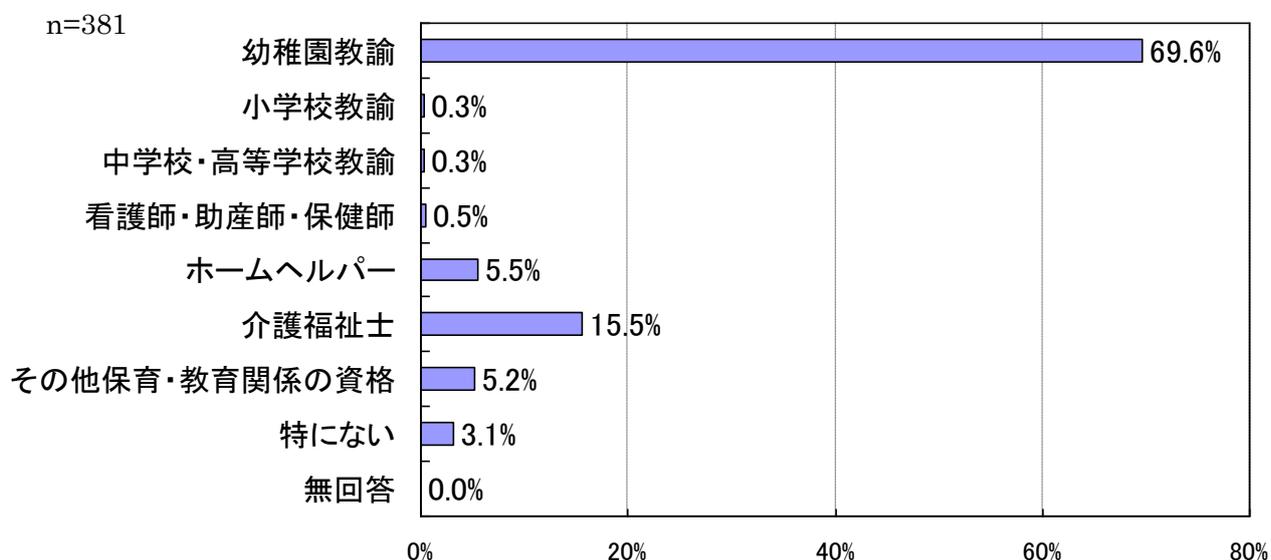
問3 あなたが保育士資格を取得した主な理由をお答えください。(〇はいくつでも)



問4 あなたが保育士資格以外に取得している資格（H26年12月1日現在）をお答えください。

（〇はいくつでも）

調査回答者の約7割（69.6%）は幼稚園教諭免許を取得している。次に多いのはホームヘルパー資格や介護福祉士資格など福祉に関する資格となっている。「その他保育・教育関係の資格」には、「臨床発達心理士」や「児童厚生員」、「ベビーマッサージ」、「ベビーシッター」、「ベビーヨガ」などが挙げられている。

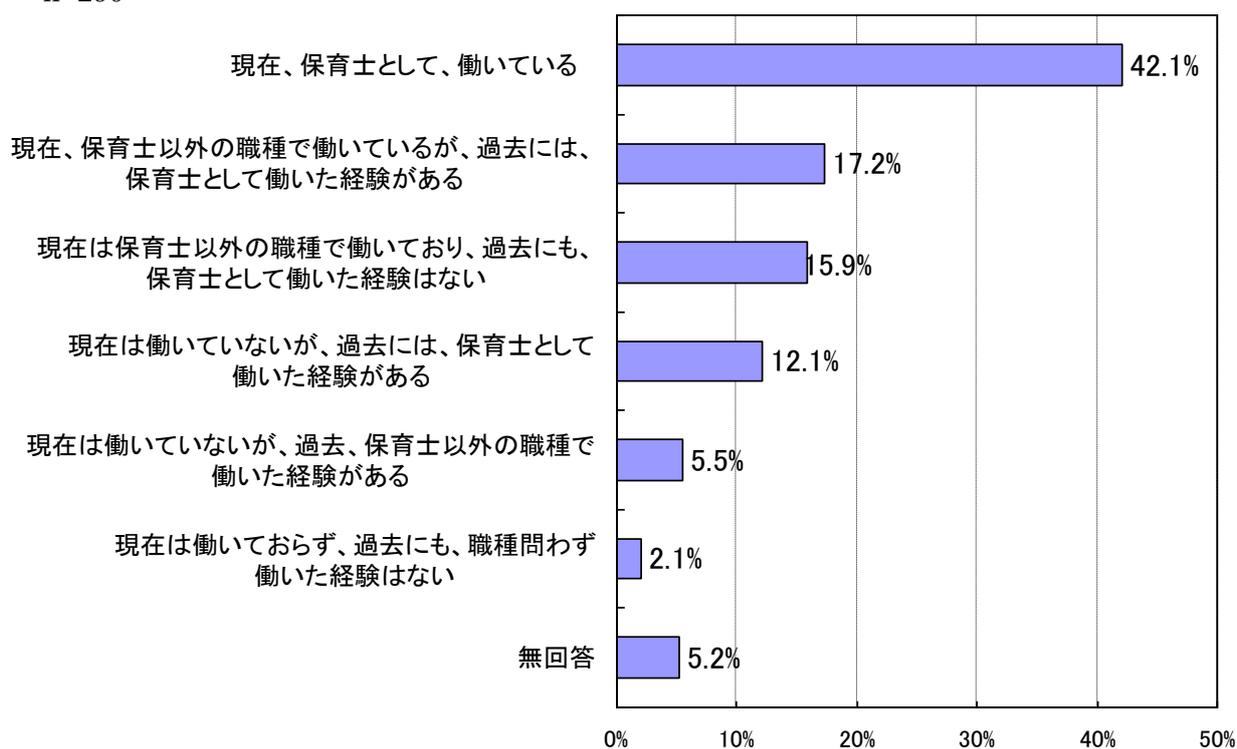


問5 あなたの現在の就業状況（自営・パートを含む）をお答えください。（〇は1つだけ）

※ 現在、休職中の方（産休・育休含む）は、「働いている」としてお答えください。

現在の就業状況に関わらず、保育士を経験した人の割合は、調査回答者の7割となり、多くの人が資格を活用し、保育に関わる仕事に携わったといえる。「現在、保育士として、働いている」人は42.1%となっている。

n=290



2. 現在保育士就業者について

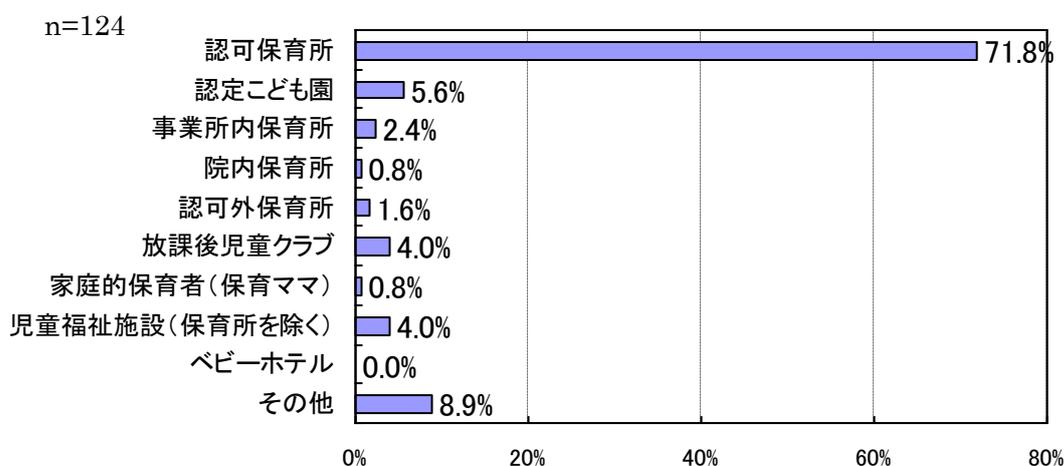
現在、保育士として働いている方におたずねします。→他の方は問13または問17へ

問6 現在、保育士としてお勤めの施設は下記のそれぞれの条件にあたりますか。また、あなたの雇用条件としてあてはまるものをお選びください。

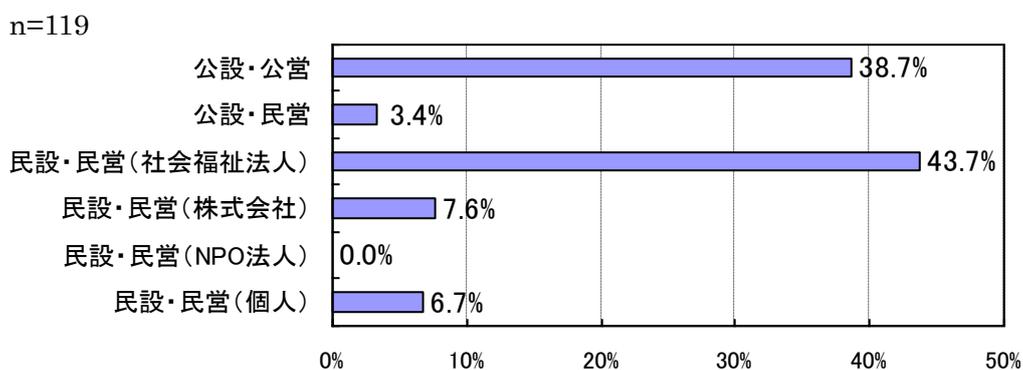
複数で働いている方は、もっとも長時間働いているところを主たる勤め先としてお答えください。

施設類型は「認可保育所」が71.8%と最も高い割合となっている。運営主体は「民設・民営（社会福祉法人）」が43.7%、次いで、「公設・公営」が38.7%となっている。勤務施設の場所については「いわき市内」で働いている人の割合が62.3%、「いわき市外」で働いている人の割合が37.7%であり、人材の流出がみられる。また、「臨時職員」よりも「正規職員」として働いている人のほうが多いという結果になっている。

施設類型



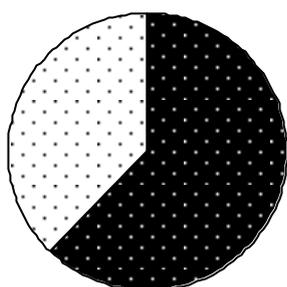
運営主体



n=122

場所

いわき市外
37.7%



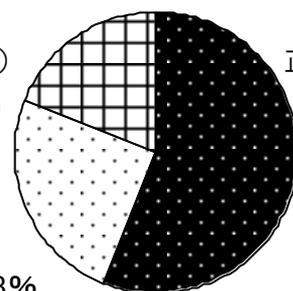
いわき市内
62.3%

n=121

雇用形態

臨時職員
(パートタイム)
19.0%

臨時職員
(フルタイム)
24.8%

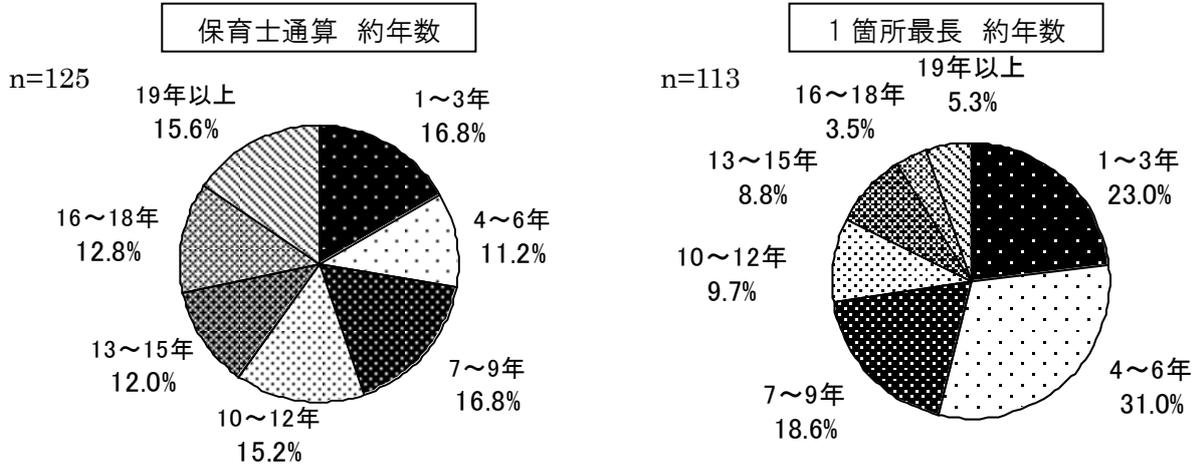


正規職員
56.2%

問7 あなたは保育士として通年何年お仕事をなされていますか。

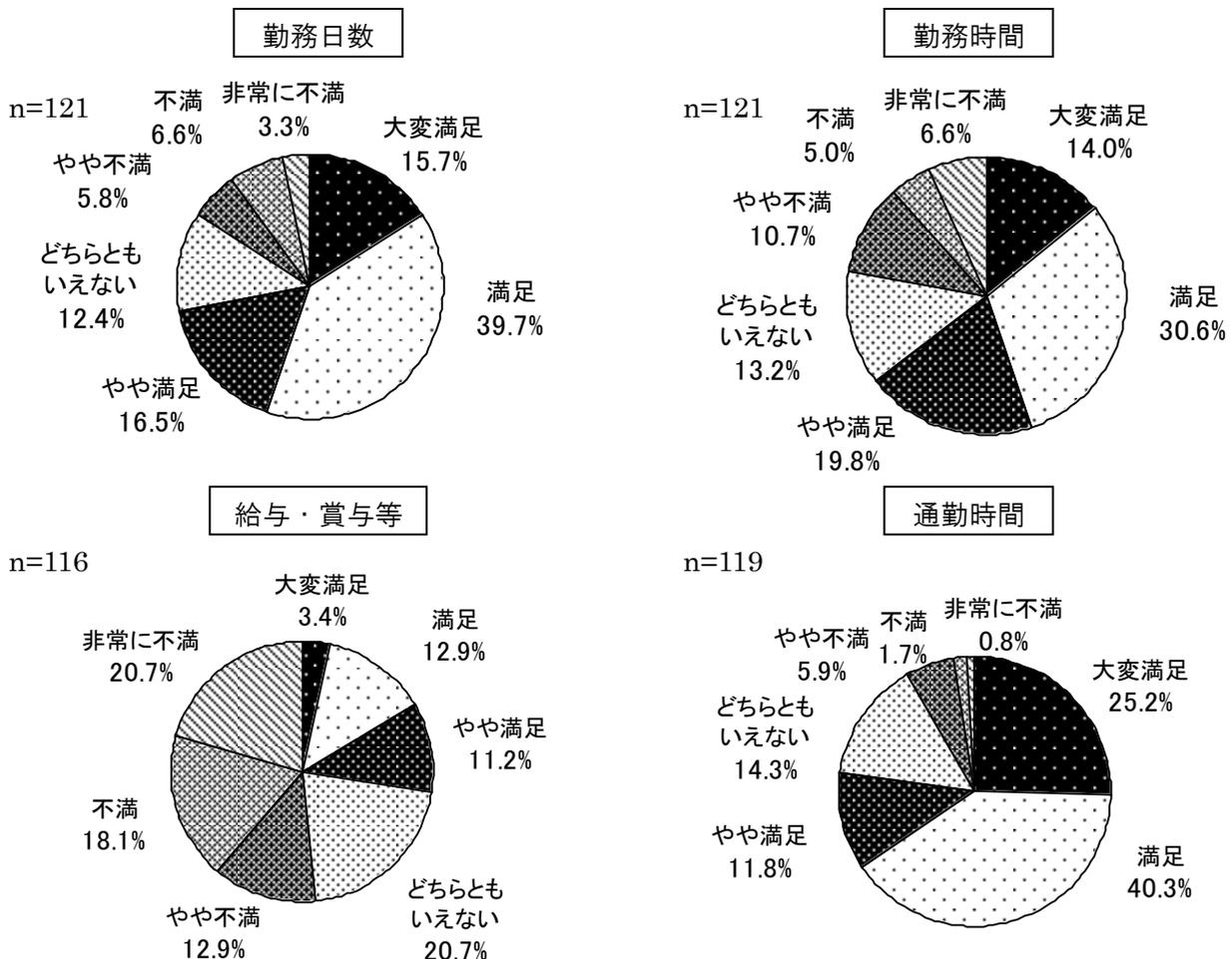
また、1箇所まで保育士として最も長く継続して働いた年数もお答えください。(1年未満の方は1年とお書きください。)

1箇所最長約年数は「4～6年」(31.0%)が最も多く、次いで「1～3年」(23.0%)となっている。通算年数と比較し、1箇所あたりの勤務年数が短いことから、2箇所以上の保育所を経験している人が多いことが分かる。

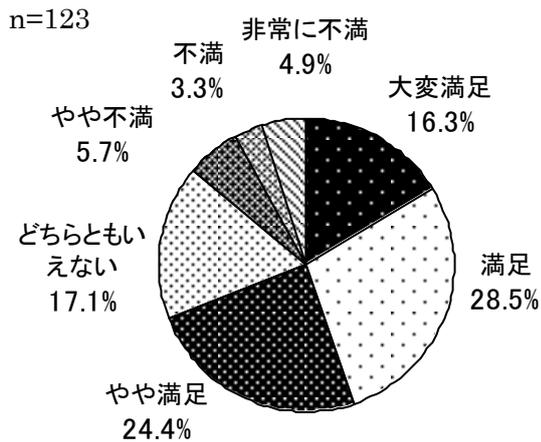


問8 現在の職場に対する以下のそれぞれの項目について一部実態を()内にご記入いただき、あなたの満足度をお答えください。

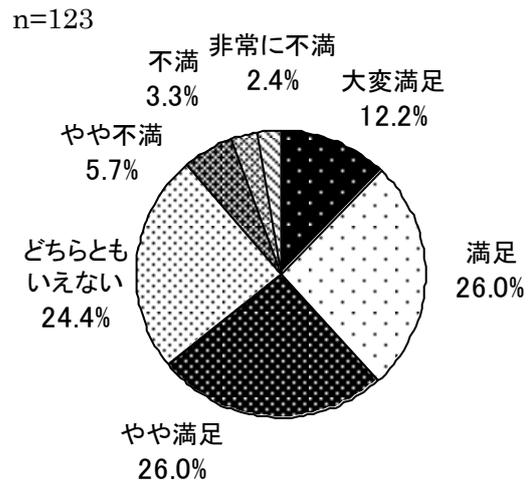
項目別全体では「勤務日数」「通勤時間」「保育士としての仕事全体のやりがい度」などは比較的満足度が高く、「給与・賞与等」では満足度が低い。満足度の高い勤務日数は「週5日」がもっとも多く、通勤時間は「10分」や「15分」が多く挙げられている。給与・賞与等では「年収150万円～200万円未満」の層で最も満足度が低く、次いで「年収200万円～250万円未満」の層で満足度が低い。



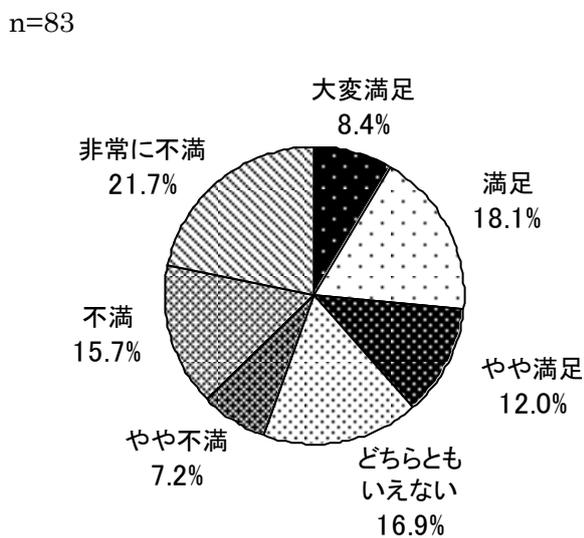
職場の人間関係



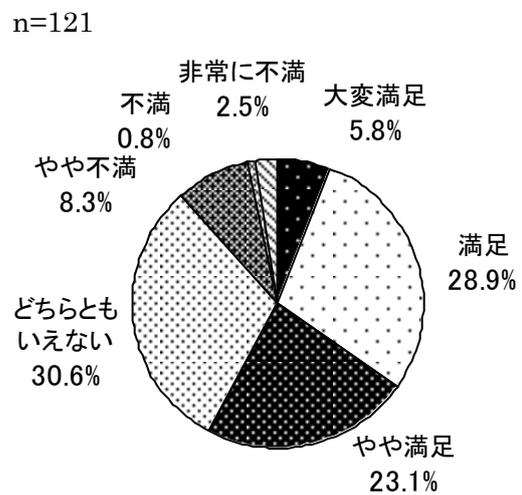
保護者や地域との関係性



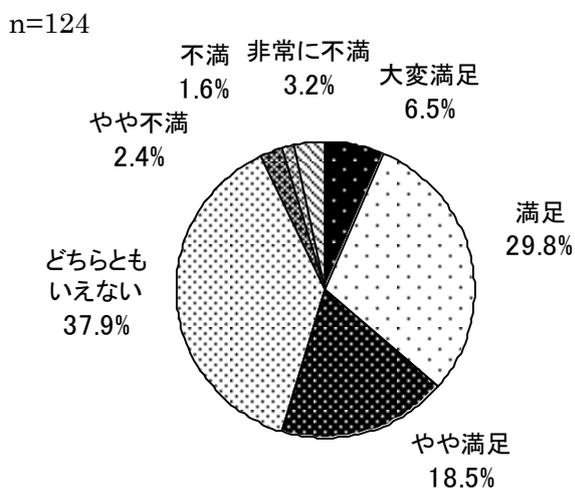
その他労働条件



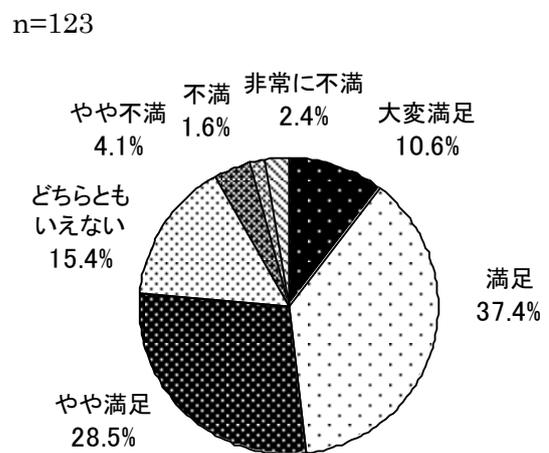
園などの理念や運営方針



上司（園長）から自分への評価



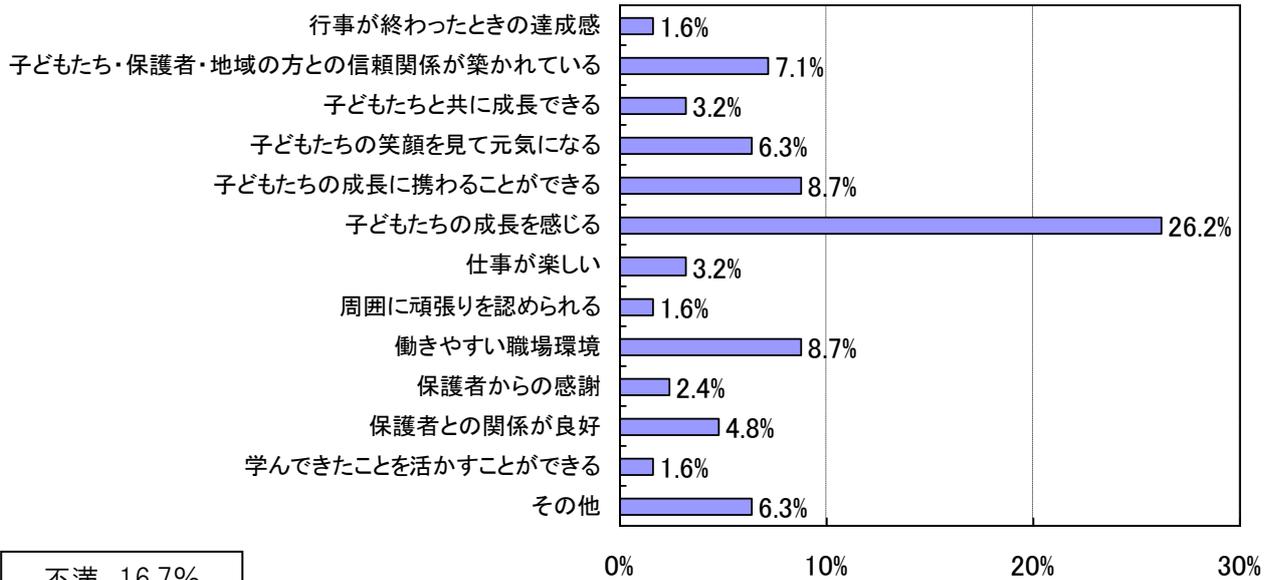
保育士としての仕事全体の「やりがい」度



問9 保育士の仕事のやりがいについて上記のように感じる理由を具体的にお答えください。

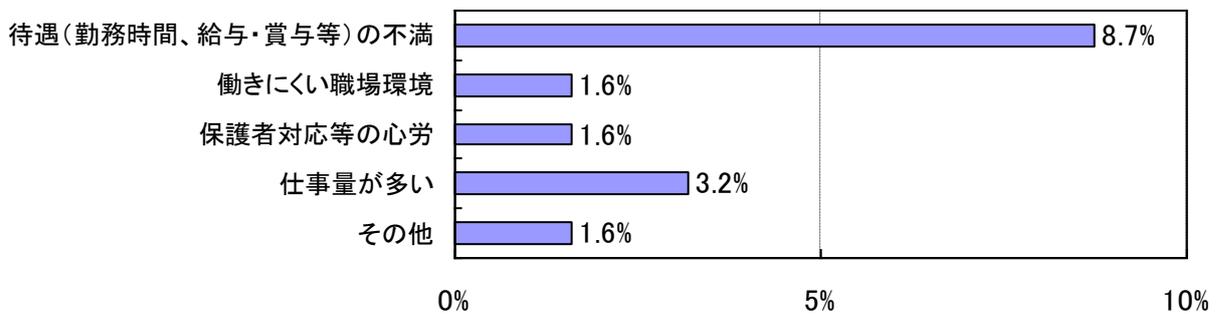
満足 81.7%

n=126



不満 16.7%

n=126

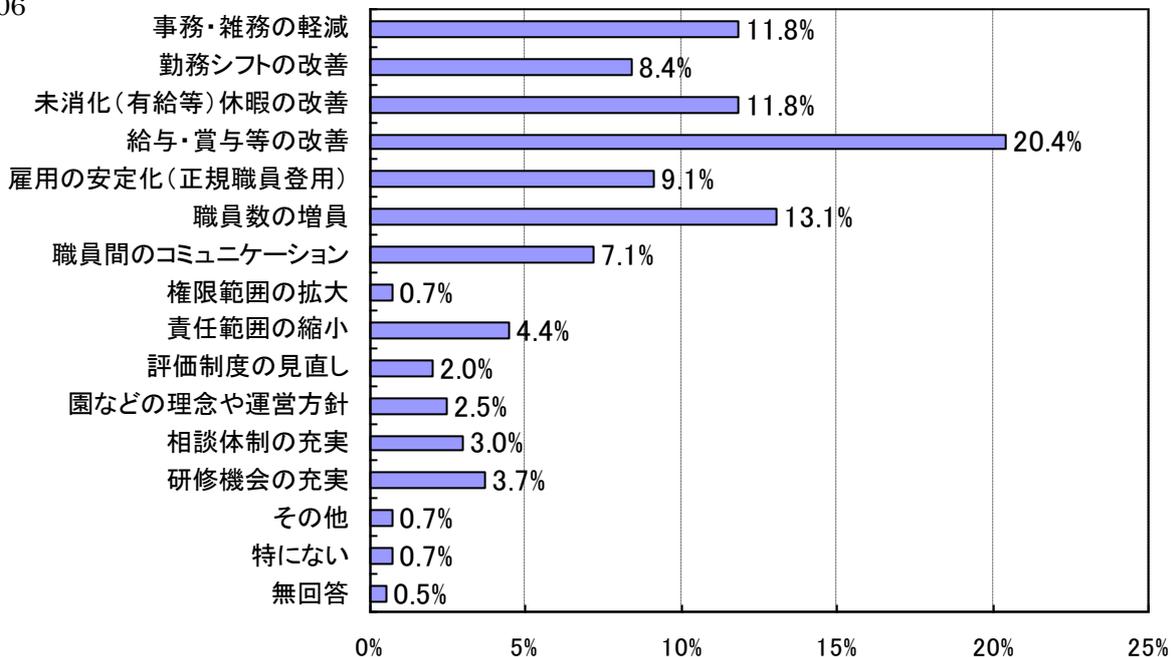


問10 現在の職場に対して、日ごろからあなたが改善してほしいと思っている事柄はありますか。

下記の中から近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

職場への改善希望としては「給与・賞与等の改善」(20.4%)を希望する割合が最も高い。次いで、「職員数の増員」(13.1%)、「事務・雑務の軽減」(11.8%)、「未消化(有給等)休暇の改善」(11.8%)など、労働条件や職場環境への不満の高さが見られる。

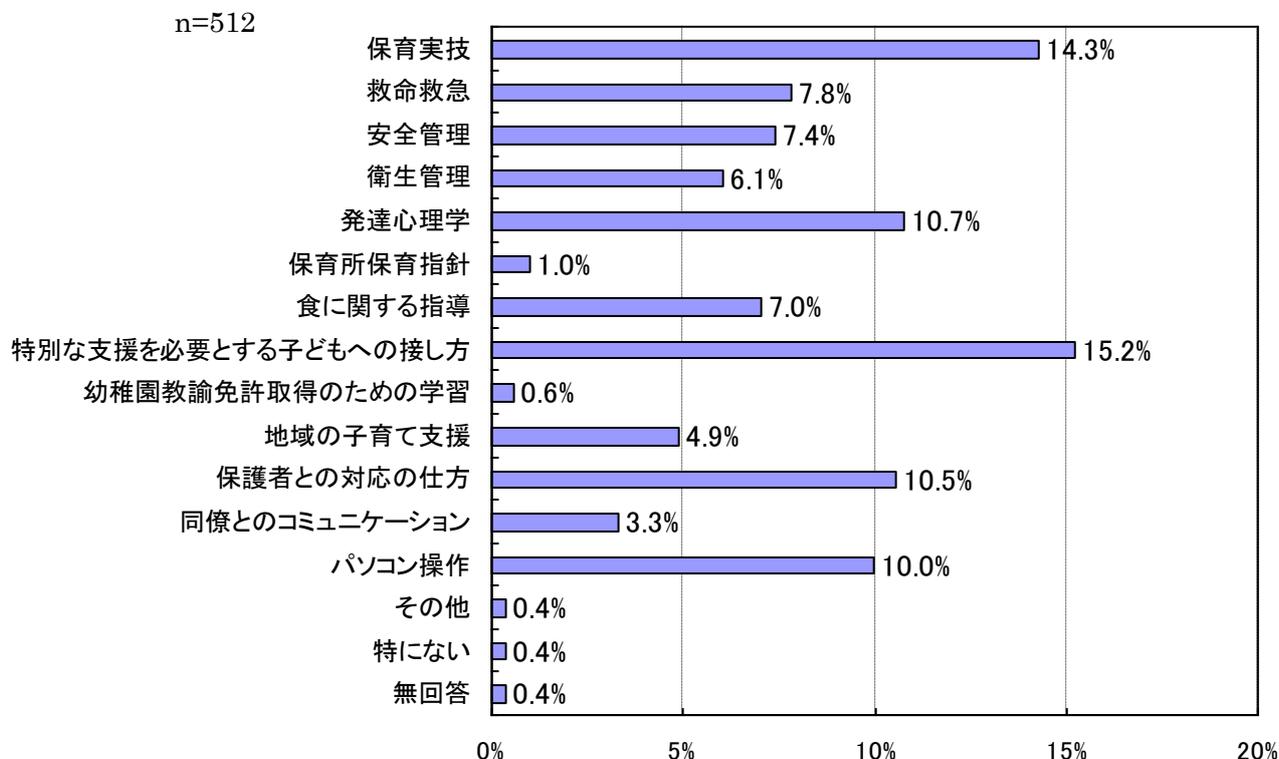
n=406



問 11 あなたは保育士として働き続けるにあたり、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。

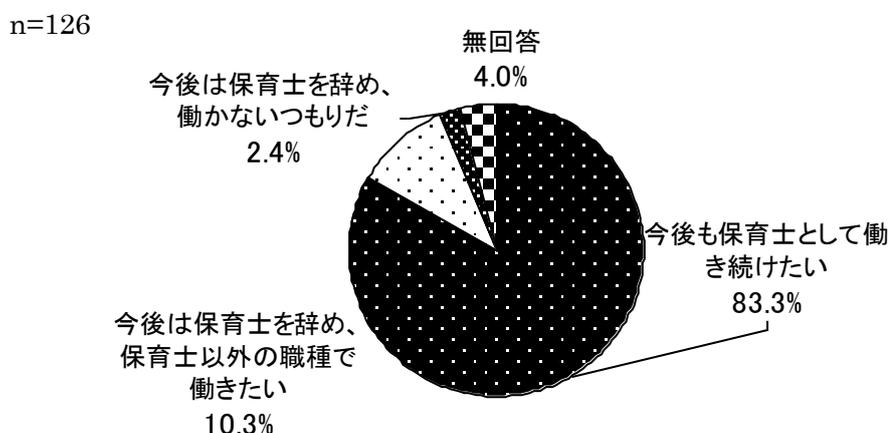
下記の中からお選びください。(〇はいくつでも)

現在保育士が、就業継続にあたり習得を希望する知識・技術としては、「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」(15.2%)、「保育実技」(14.3%)の割合が高い。その他、「発達心理学」が10.7%、「保護者との対応の仕方」が10.5%、「パソコン操作」が10.0%となっている。



問 12 あなたは、今後も保育士として働き続けたいと思っていますか。(〇は1つだけ)

現在保育士として働いている人のうち、「今後も保育士として働き続けたい」が83.3%と最も高い。離職を考えている人の割合は約1割(「今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」:10.3% 「今後は保育士を辞め、働かないつもりだ」:2.4%)となっている。



3. 過去保育士就業者について

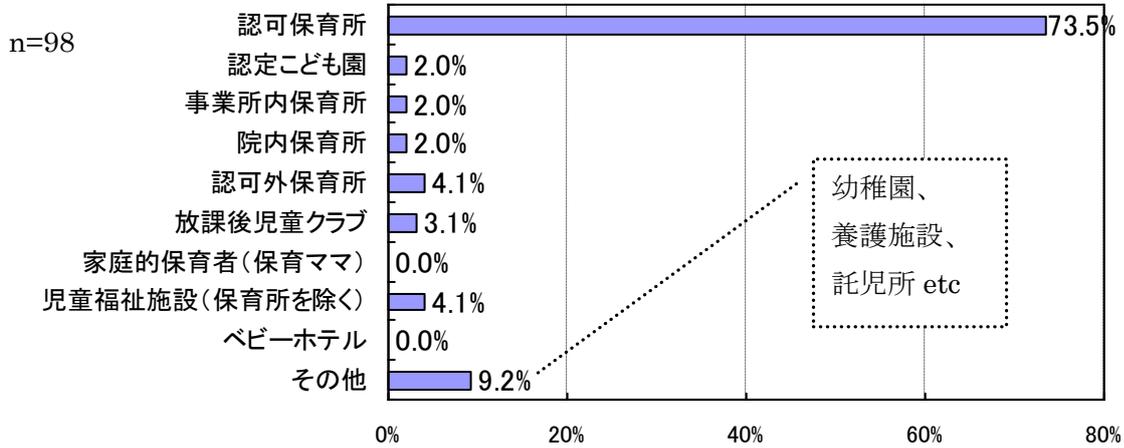
過去に保育士として働いていた方におたずねします。→働いたことのない方は問17へ

問13 過去、保育士としてお勤めされていた施設は下記のそれぞれの条件のいずれかにあたりますか。

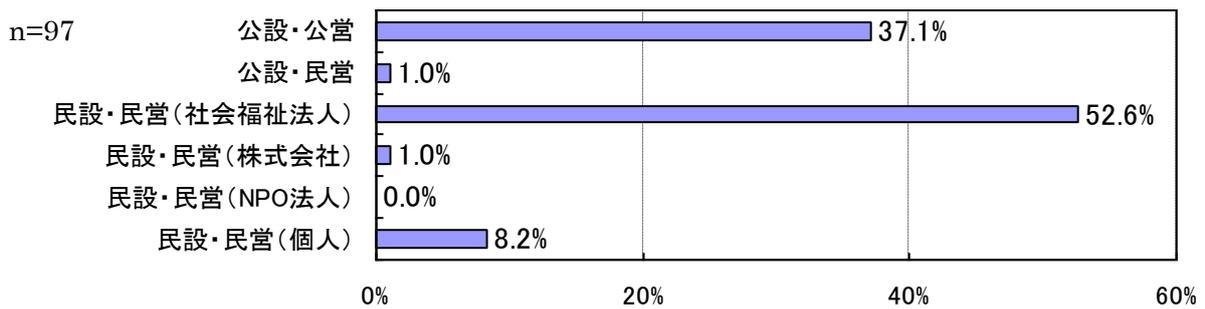
また、あなたの雇用条件としてあてはまるものをお選びください。

複数で働いていた方は、もっとも最近働いていたところをお答えください。(〇は1つずつ)

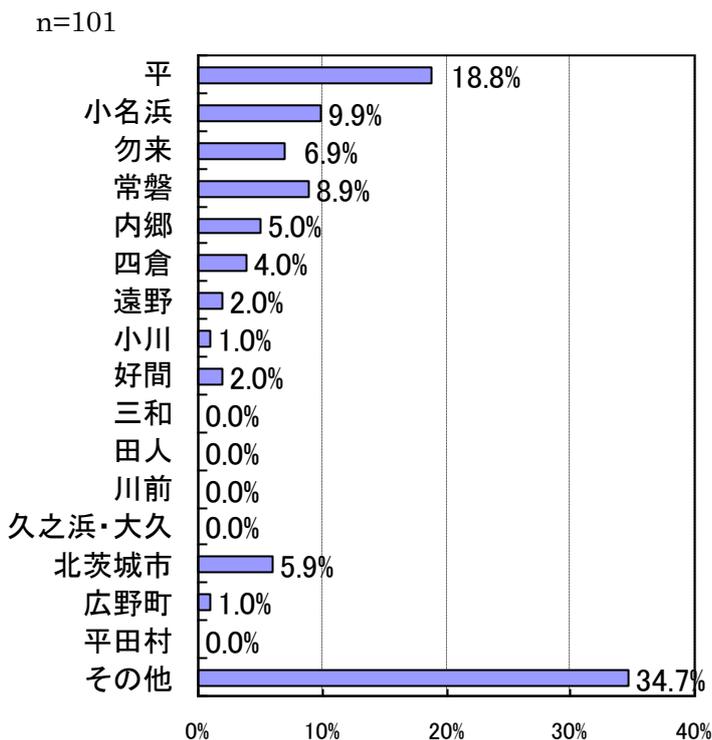
施設類型



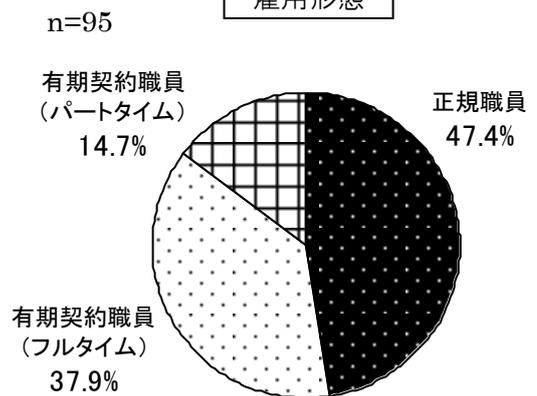
運営主体



場所

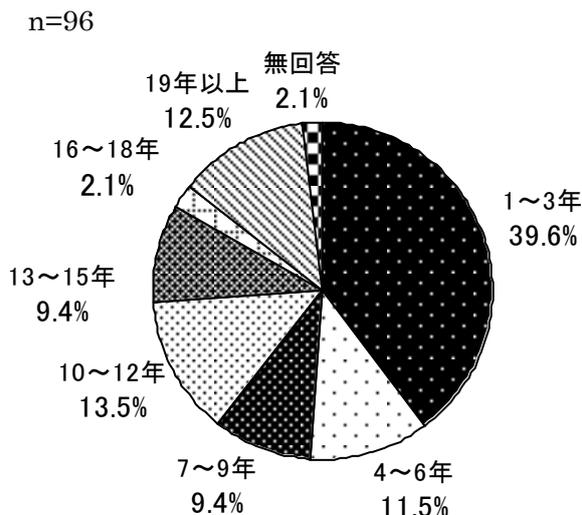


雇用形態



過去に保育士経験のある人の当時の雇用形態や勤務先の運営主体は、現在保育士の構成とほぼ同じとなっているが、やや正規の割合が低くなっている。(P5参照)

問 14 あなたは保育士を辞めて何年になりますか。(1年未満の方は1年とお書きください。) 約 年



保育士を辞めて「1～3年」の人が最も多く、39.6%となっている。次いで、「10～12年」が13.5%、「19年以上」が12.5%、「4～6年」が11.5%となっている。

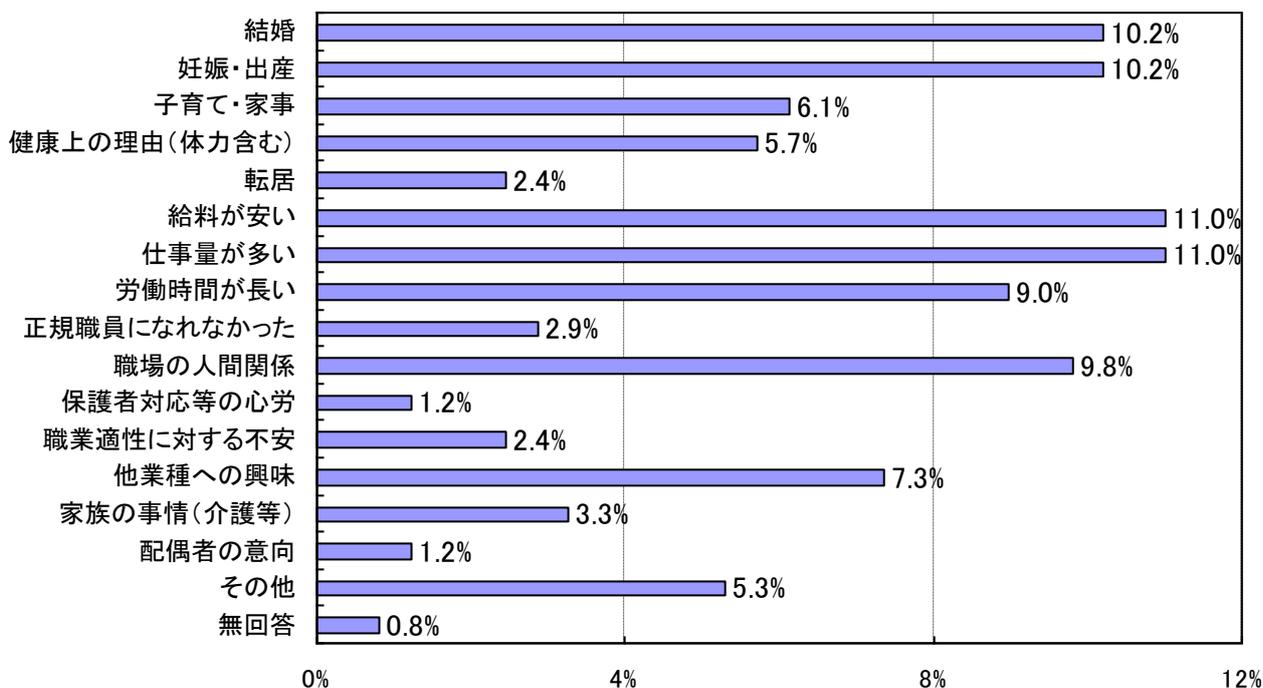
全体的にみると、1～6年で約半分の割合を占めている。

問 15 あなたが保育士として就業された保育所等を退職した理由としてあてはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)

※ 現在保育士の方は、辞めたい理由としてお答えください。

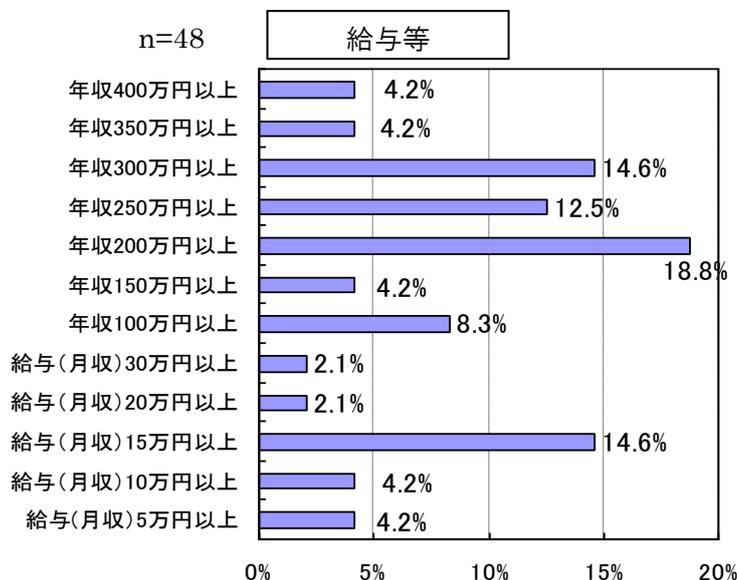
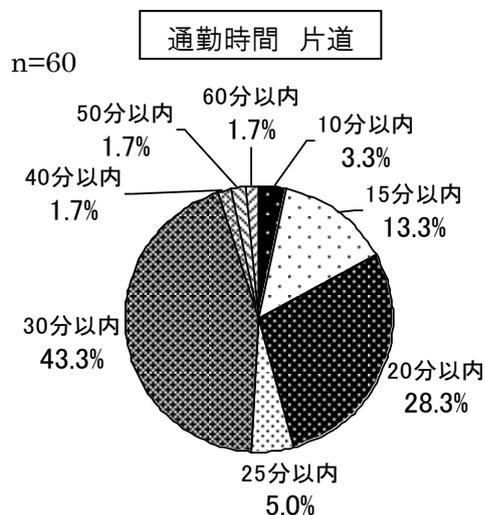
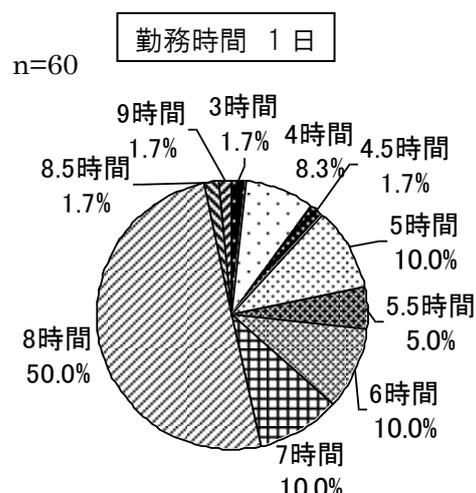
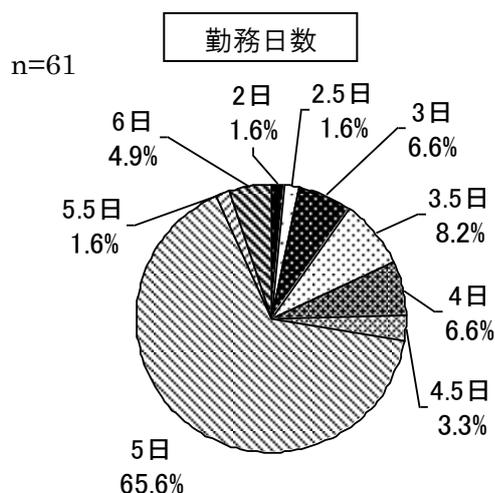
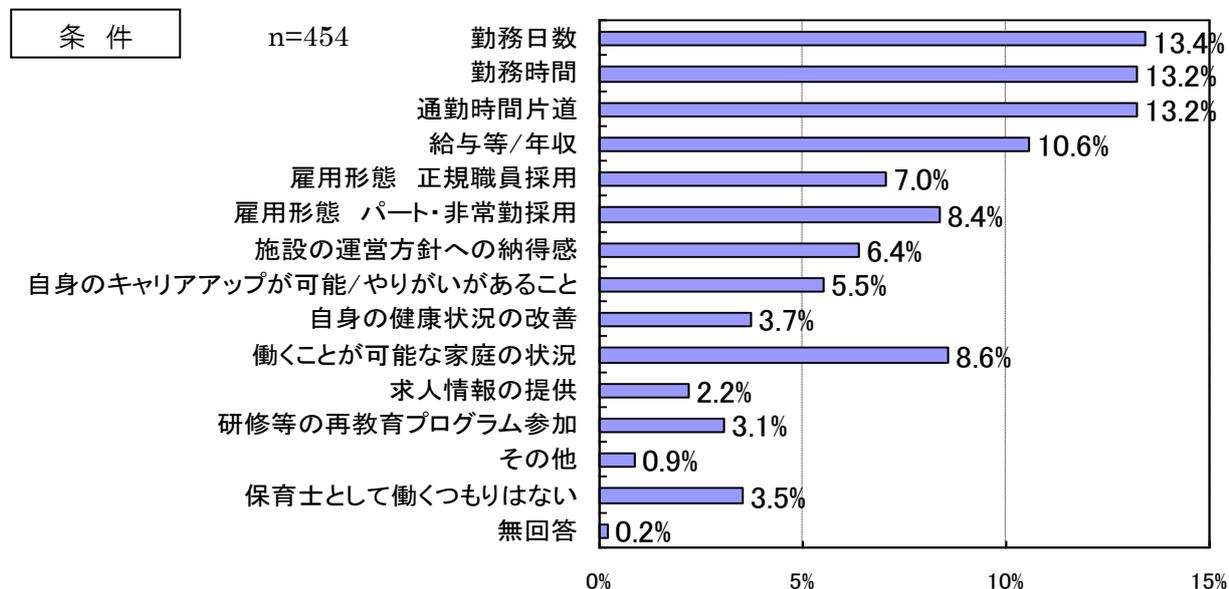
保育士を辞めた、辞めたい理由としては、「給料が安い」(11.0%)、「仕事量が多い」(11.0%)が最も多い。次いで、「結婚」(10.2%)、「妊娠・出産」(10.2%)となり、調査回答者で女性が多いことを反映している結果であると考えられる。「職場の人間関係」は9.8%であり、労働環境を理由として仕事を辞めた、または辞めたい人も多いという結果となっている。

n=245



問 16 あなたが今後、保育士として働く場合に求める条件をお聞かせください。(〇はいくつでも)

保育士として就業するための条件を尋ねたところ、「保育士として働くつもりはない」と答えた人はわずか3.5%であり、多くの過去保育士が、希望条件がかなえば保育士として就業する可能性を有していると考えられる。また、「勤務日数」や「勤務時間」など給与以外の条件も重視している傾向が見られる。勤務日数については「週5日」が最も多く、全体の約6割を占めている。勤務時間については「8時間」が50.0%と高い割合を示している。給与等については「年収200万～300万」を条件とする人が多い。

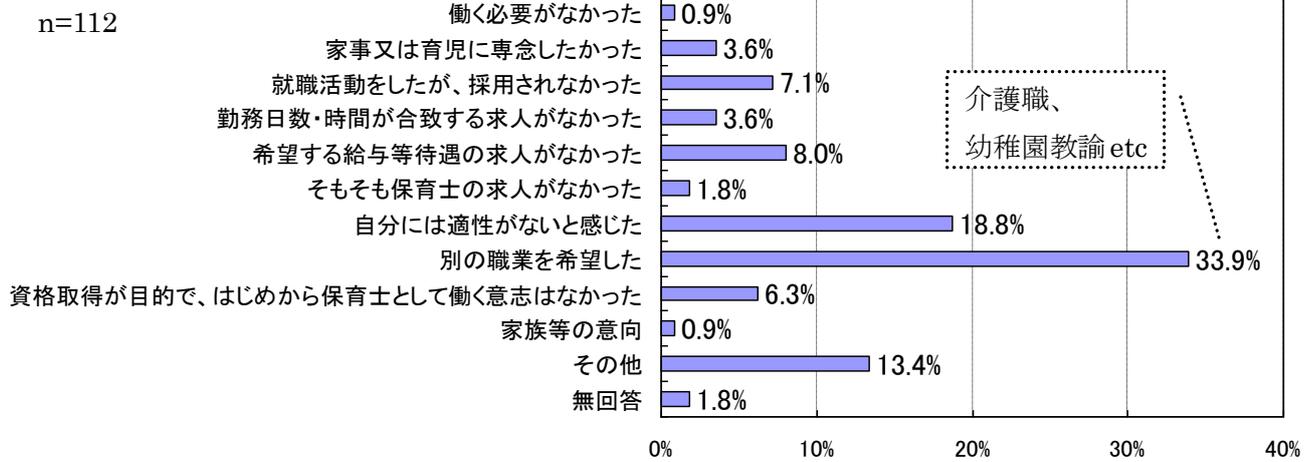


4. 保育士就業未経験者について

これまでに保育士として働いたことのない方におたずねします。

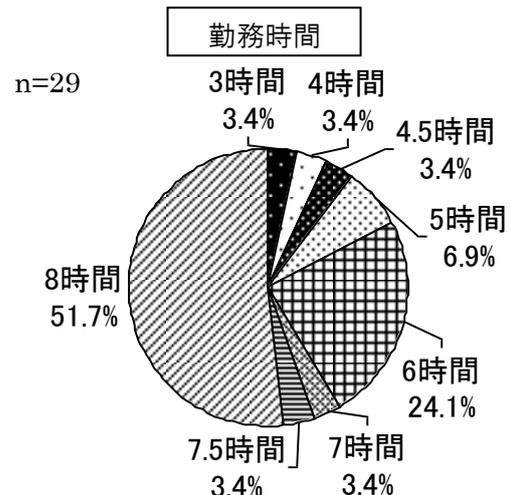
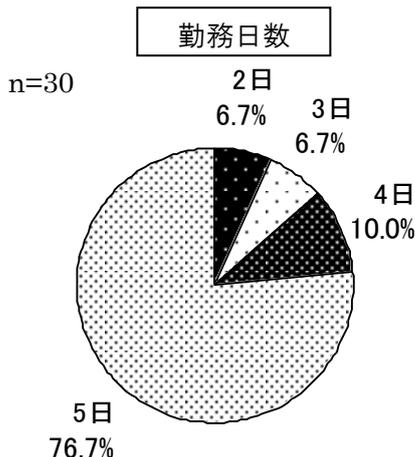
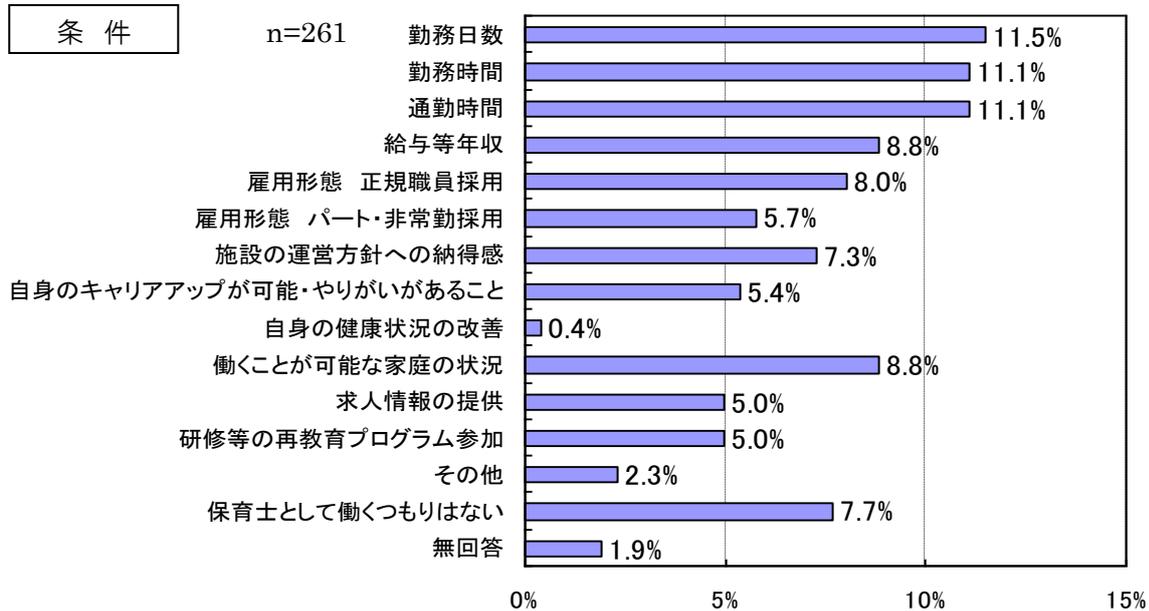
問 17 あなたが保育士として働かなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべてお答えください。

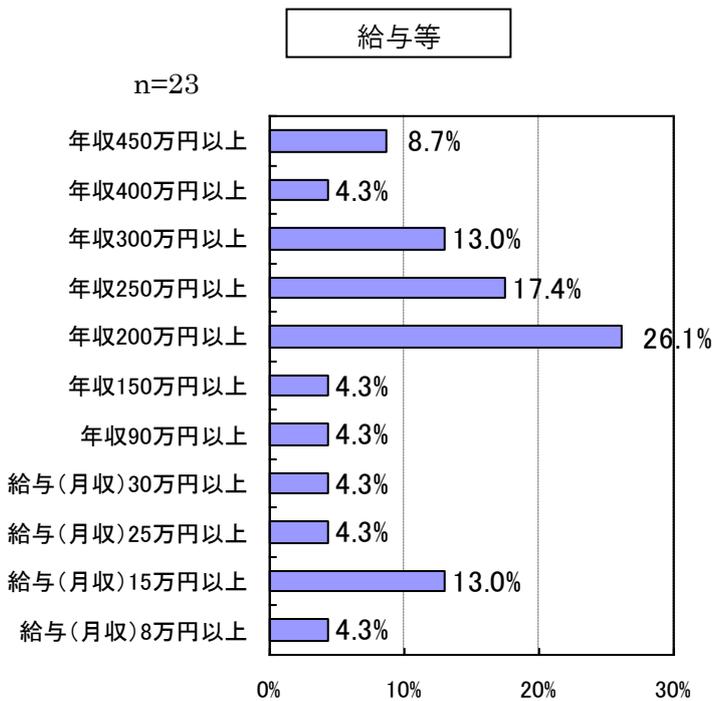
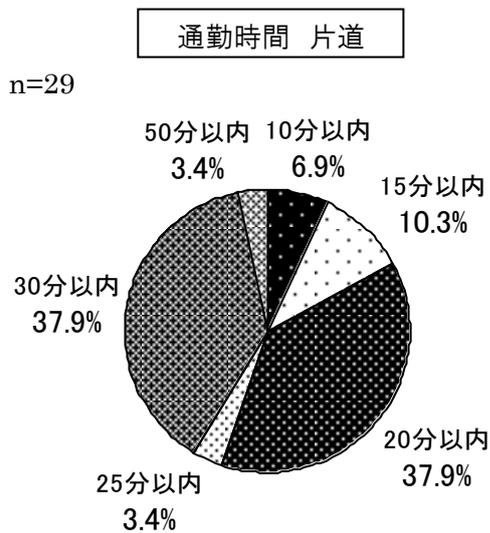
(○はいくつでも)



問 18 あなたが今後、保育士として働く場合に求める条件をお聞かせください。(○はいくつでも)

再就業時の条件としては「給与等/年収」(8.8%)よりも「勤務日数」(11.5%)や「勤務時間」(11.1%)、「通勤時間」(11.1%)などの方が多くあげられており、過去保育士経験者とほぼ同じ回答結果となっており給与等についても同様である。しかし、雇用形態はパートや非常勤より正規職員採用を希望する割合の方が高くなっている。

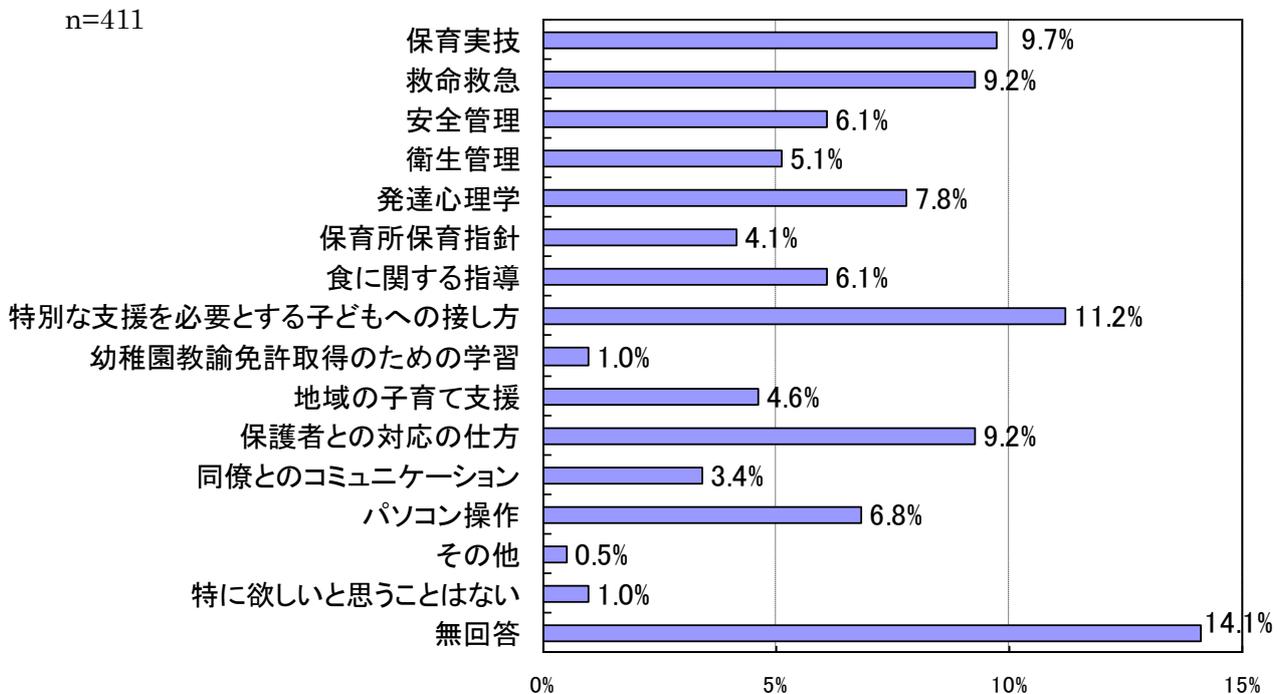




今後保育士として働く意向のある方におたずねします。

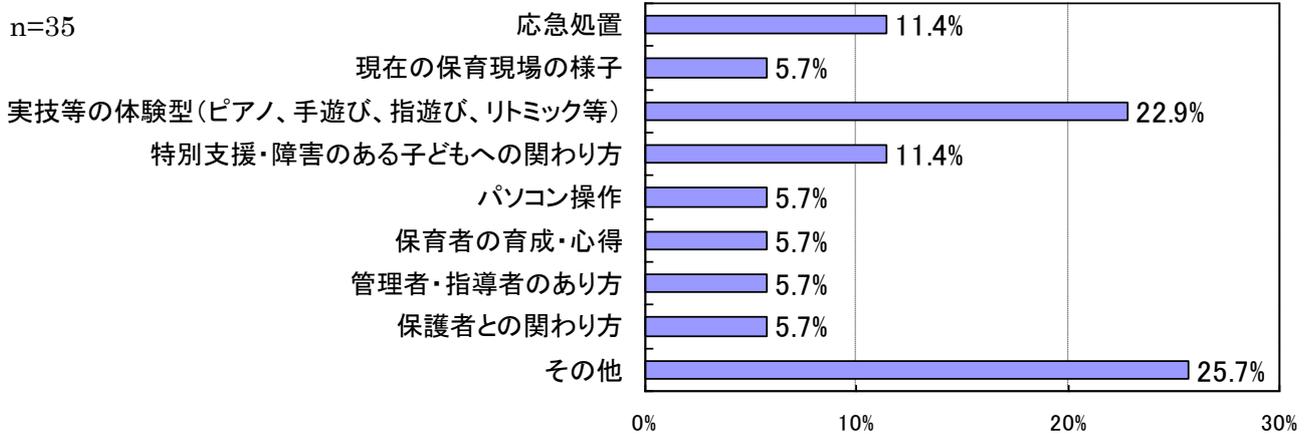
問 19 今後保育士として働くまでに、以下のような知識や技術を習得する機会を欲しいと思いますか。欲しいと思うものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

再就業時に取得を希望する知識や技術については、「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」(11.2%)が最も高く、次に「保育実技」(9.7%)、そして、子どもの命を守る「救命救急」(9.2%)、「保護者との対応の仕方」(9.2%)という結果となっている。



希望する研修の内容

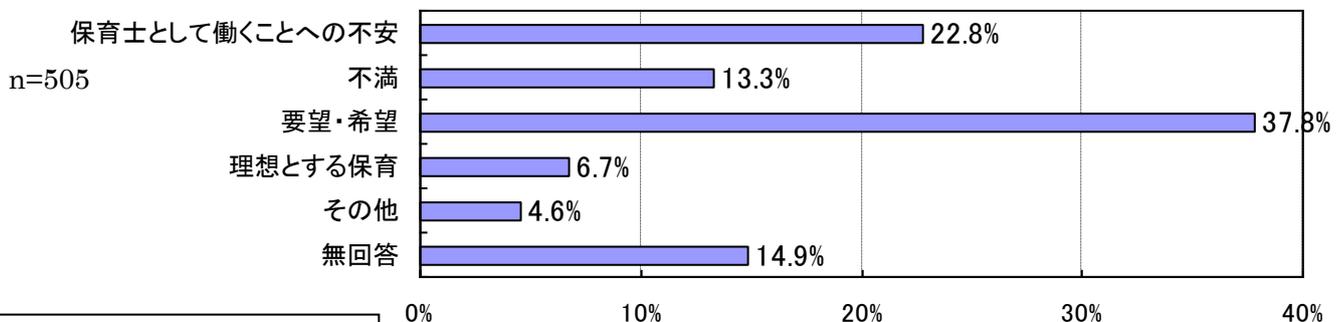
研修の内容については、ピアノや手遊び、指遊びなど「実技等の体験型」が22.9%となっている。次に、「応急処置」と「特別支援・障害のある子どもへの関わり方」が11.4%となっている。「その他」に関しては、「運動会や発表会での演技・演目指導」や「小学校就労へむけての指導」、「未満児の個々に対する言葉がけ」、「緊急時の誘導や非難方法」などが挙げられている。



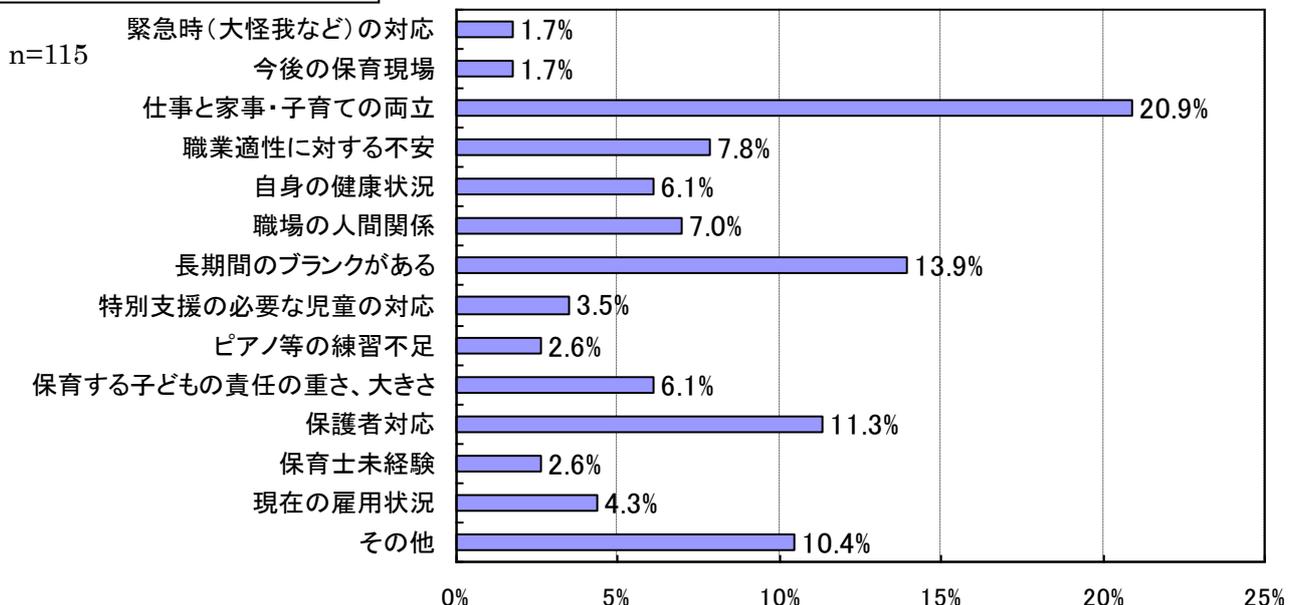
最後に皆様におたずねします。

問 20 最後に、あなたの「保育士として働くことへの不安」や「働くために支援が必要だと感じていること」、「理想とする保育」などについてご意見をお聞かせください。

「保育士として働くことへの不安」については、「仕事と家事・子育ての両立」が20.9%と最も高い。次に、「長期間のブランクがある」が13.9%となっている。給与・賞与に関する不満の割合が59.7%と高く、改善の要望が多い。

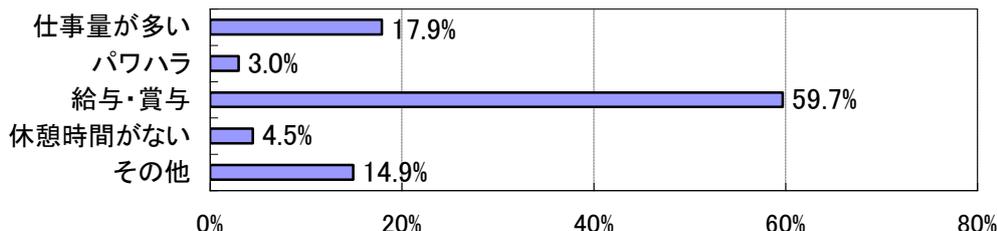


保育士として働くことへの不安



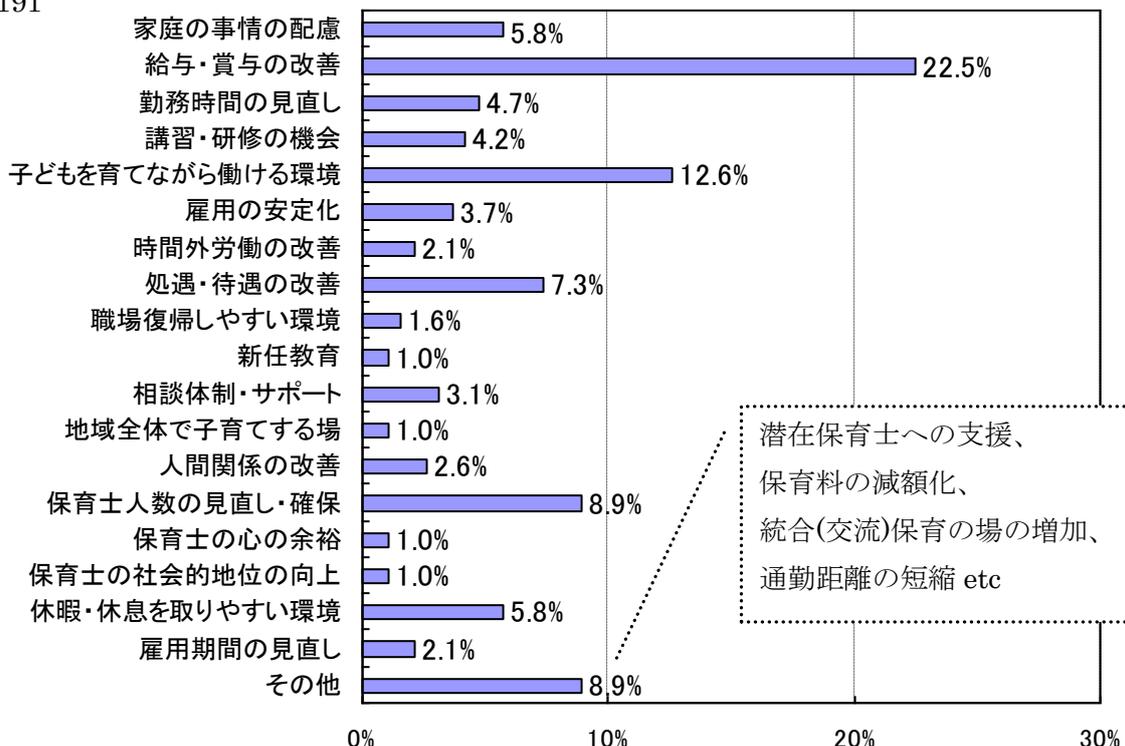
不 満

n=67



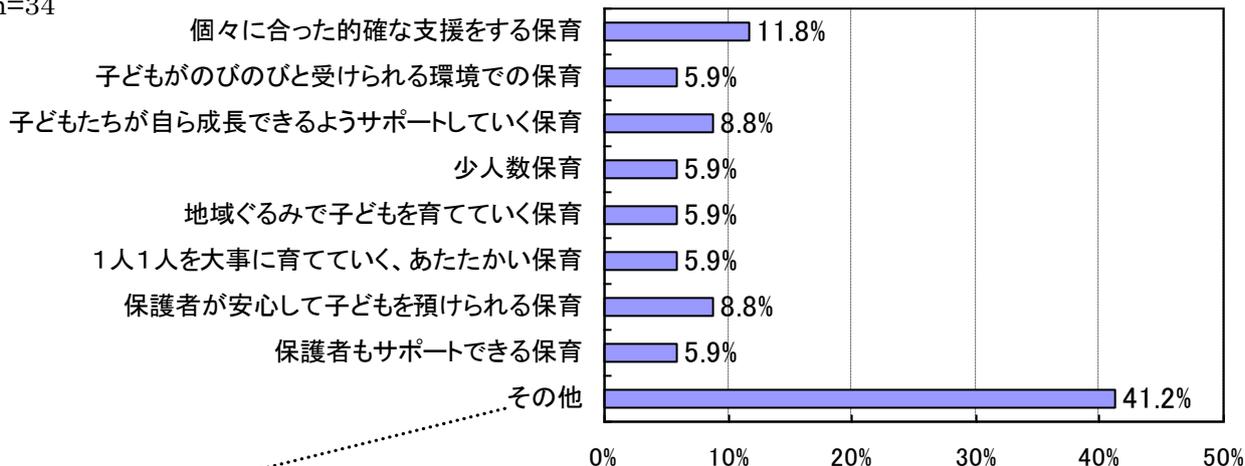
要望・希望

n=191



理想とする保育

n=34



「愛情の中の厳しさのある保育」「諦めない精神を日常のなかで育てる保育」「遊びを中心とする保育」
「子どもと同じ目線に立ち、様々な発見や学びを共有し、共に成長できる保育」「子どもの気持ちに寄り添う保育」
「障害のある子もない子も平等に生活できる保育空間」「保育者同士のコミュニケーションの良い環境」
「見守る保育」「裸足保育」など